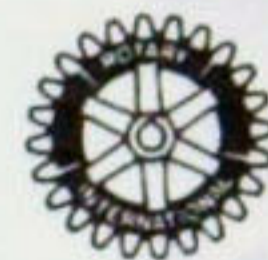


Show Rotary Cares ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区——久保田 昭 治
ガバナー——五十嵐 総 一
会 長——細 井 増 雄
会長エレクト——長谷川 有 美
副 会 長——佐 野 勝 栄
幹 事——西 山 徳 厚
副 幹 事——山 浦 日出夫
S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	77名中 58名
先々週出席率	92.0%

ヴィジター

三条南より 佐藤嘉男さん
マルコ・ネーザン・リベラさん

ゲ ス ト

(株)越後ジャーナル社
社主 池野芳男様

先週のメイクアップ

6/12 キョドンRCへ (韓国)
五十嵐総一さん、佐野勝栄さん、
小越憲泰さん、小出子恵出さん、
山田富義さん、橋 直樹さん、
榎本 勝さん、中村和彦さん

6/16 三条北へ
渡辺勝利さん、橋 直樹さん

会長挨拶

五十嵐総一会長

みなさん、こんにちは。

お食事中の方はごゆっくりとして頂きたいと思います。昼の例会が今年度最後ということで私もハッスルして登壇させて頂きました。

本日は卓話を頂きます、(株)越後ジャーナル社の池野さんありがとうございます。そして、南クラブから飯山さん、北クラブから中条さん、そして交換学生としていよいよ帰国寸前のネーザン君がお見えになっております。ようこそおいで頂きました。

先週は南ロータリークラブの30周年ということで、振替休日で休ませて頂きまして2週間ぶりの例会です。しかも今日が昼の例会としては最後になりました。来週の24日は会長幹事慰労会でございます。そして先般の南ロータリークラブのすばらしい感銘深い30周年の式典がございました。講演の藤本義一先生ですが、「左の脳だけを使って、右の脳まで使ってない。何時の間にか1年が終わるな」とおっしゃっておられました。私も右の脳を使うときにはもう終わっているんじゃないかと思えます。

先日の6月8日に国際奉仕委員会が主催して、1年交換学生ネーザン君のお別れパーティをさせて頂きました。三条商業高校の先生、田辺さんのご家族、小林さんのご家族を交えて本当に和やかなパー

ティになりました。商業高校の先生達からお褒めの言葉があり、私も預らせて頂き本当にありがたかったなと感銘を受け、ほっとしました。ネーザン君は7月2日に燕三条を発たれて、お帰りになれるということです。本当に名残惜しいのですが、後でお別れのご挨拶を頂きます。又、地区から終了証書も届いておりますので、お渡ししたいと思っております。

そして、振替休日に三条北クラブの7名の方と三条クラブの8名の方で韓国のソウルのキョドンロータリークラブの朝例会にメーキャップをさせて頂きました。私達のバナーを渡しましたが、先方さんのバナーは後で送ってくれるということなのですが、未だ届いていません。バナーが作られていないのではないかなと思います。紹介しますと、48名の会員数で出来てまもなく5年経つクラブでございます。しかも早朝だけの例会で、午前7時15分から8時15分までの朝の例会だそうです。ソウルは特に車が混んでおり、昼の例会に出席したとしますと会社に戻ると午後5時頃になるということで、早朝例会をする様になったということをお聞きしました。品格のあるクラブだと思えました。5年しか経っていませんけれども、これから益々発展されるのではないかと期待して帰ってまいりました。

皆様お読みになったと思いますが、6月号のガバナー月信に地区分割の件が出ておまして、申請書をR Iに提出した

が受理されなかったということで、分割問題は当分据え置きではないかなと思います。月信に書いてありますので、ちょっとお読みになれば解ると思います。そして、私の年度も24日で終わるのかなと思っておりましたら、27日に群馬の碓氷・安中ロータリークラブのチャーターナイトがあります。そこに私と佐野幹事と出席して参りますが、これで群馬県が44クラブ、新潟県が53クラブ計97クラブということです。50クラブ以上でない分割が非常に難しい。新潟県はその数に達していますが、群馬県の方がまだクラブ数が足りないということになります。

話は変わりますが、日通の渡辺弘栄さんが転勤されまして、後任の長澤三条支店長さんが今日から入会されました。後ほど七つ道具をお渡しして、紹介をさせて頂きます。

最後ですけれど、山本恒男会員を理事会ではかり退会とさせて頂きました。

梅雨に入って蒸し暑い日が続くと思いますが、くれぐれも体に気を付けて頂きたいと思います。時間を頂きまして大変失礼いたしました。あいさつを終わります。

幹事報告

佐野勝栄幹事

◎三条ローターアクトクラブより
来期第一回例会ご出席のお願いがとどいております。

と き 7月2日(木)

ところ 三条信用金庫本店3F

◎三条南RCより
創立30周年ご出席お礼状がとどいております。

◎日本サービスセンターより
ロータリー適用相場変更のお知らせがとどいております。

7月1日より

1ドル140円(現行130円)

ニコニコBOX



五十嵐総一さん

ネーザン君1年間日本の勉強大変ご苦労様でした。長澤君の入会を歓迎して、先日韓国で橋会員に大変お世話になり、ありがとうございました。

佐野勝栄さん

先週、北クラブと合同で韓国、濟州島へ行って来ました。又、韓国、キョドンロータリークラブへメーキャップして参りました。

マルコ・ネーザン・リベラ君

さようなら、ありがとうございました。

橘 直樹さん

韓国旅行ありがとうございました。ゴルフコンペではえあるブービーメーカー賞をいただきました。あわせて感謝いたします。

中村和彦さん

先週の済州島の旅行たいへん楽しかったです。橘さんをはじめ参加された皆様には、たいへんお世話になりました。

小出子恵出さん

6月9日から三条RC、三条北RCクラブ員と韓国済州島へ旅行に行ってきました。ソウル市内のRCの例会に出席させていただきました。皆さんにお世話になりました。

福井良英さん

このところいろいろなイベント、行事等があり多くの人に出会えました。大変楽しく過すことが出来、感謝の気持ちをこめて。

渋谷正一さん

池野さんの卓話を聞かずに都合で退席します、すみません。

高畑 昭さん

一休恋慕大へん良かったです。ありがとうございました御座居ました。

近藤雄介さん

池野さんの卓話を期待して。

佐藤 武さん

卓話をさせていただき池野芳男さんを歓迎して。

渡辺宏策さん

池野さんの卓話を楽しみに。

林 光輝さん

池野芳男様、卓話宜しく申し上げます。

清水良一さん

親友の日航、外山機長ラストフライト、ロンドンの旅に6日間参加して楽しく過ごして参りました。西洋の文化を堪能して大変に勉強になりました。

松谷昊吉さん

ようやく車内用のクズ入お渡し出来ました。

榎本 勝さん

6月9日より12日迄、橘さんのお世話になり、済州島へ行って10年位は寿命が延びたような気がしました。

外山雅也さん

池野さんの卓話を楽しみにしています。捧さん小椋佳さんの「一休恋慕」ご招待ありがとうございました。

山田富義さん

済州島のゴルフ他、最高の思い出になりました。大変お世話になりました。

宮尾栄一さん

先週の良寛恋慕、捧さんありがとうございました。池野社主、ご苦労様です。

捧 賢一さん

小椋佳さんの「一休恋慕」の公演に多くの会員さんの参加いただきありがとうございました。

早川昭雄さん

今月始め中国黄山の観光ツアーに参加しました。折角の景観文字通り仙人雲

の上に行く天候で残念でした。

五十嵐 力さん

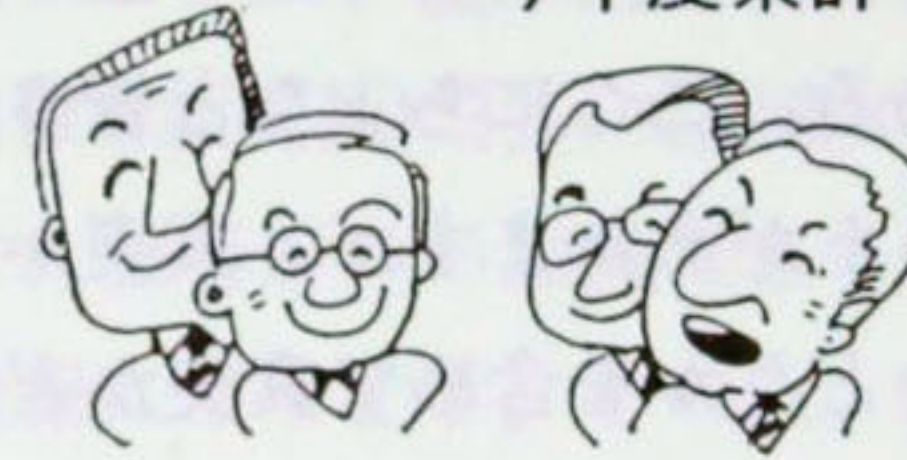
長い間病気で静養しておりましたが、80%回復しましたので又例会に出席させていただきます。何卒よろしくお願い致します。

金子俊郎さん

ボックス担当、1年間ありがとうございました。欠席が多く申し訳ありませんでした。(次回、欠席となりますので)

6月17日分 ￥39,000

今年度累計 ￥875,000



卓 話

(株)越後ジャーナル社

社主 池野芳男さん



ただ今紹介頂きました、越後ジャーナルの池野と申します。日頃皆さんの所を

取材にお伺いしたり、又顔を見渡しますとほとんどの皆さんが越後ジャーナルを支えて頂いてるスポンサーの方々ですので大変緊張しております。

顧みますと1993年の11月、初めて私が入前で話をする機会がこのロータリーでした。前回はロウハチさんが隣組ということでお断わりできませんで、やむなく引き受けた事を忘れません。

今度は小越さんから電話を頂きました。「アンタ、新聞記者しているんだから何でも話せるだろう。」ということでした。

小越さんは私が新聞を創刊した時から20年間のお付き合いです。私は昭和21年の生まれで年齢も同じということで、新聞を作る上での注意や、経営の面での悩みなど本当に忌憚なく話をして頂いたものですから、断れませんでした。

前回は「三条城燃ゆる」ということで、三条の中世から近世にかけての歴史のお話をさせて頂きました。あの時は、本当に初めて人の前で話をしたものですから、皆さんの顔の半分くらいしか見えなかった様な記憶がします。

今回は4年半前より少しはしゃべれる様になったつもりです。皆さんのお陰だと思って厚くお礼申します。聞き苦しい所は、ご了承願いたいと思います。

実は昨日、今日と新聞を見ていられると解る通り(燕三条FM放送の番組のうち平日の午前、午後の各10分間を買い取り、三条市、燕市とも各々月額60万円を広告委託料として民間放送局に支払うた

めの総務常任委員会での補正予算案審議の様子を伝える記事)、燕三条FM放送株式会社の設立の準備が進んでおり、8月から放送を開始したいという事になっております。

燕市の議会は委員会採択になりました。あと本会議で採決をして、可決されれば予算が補正され、放送広告料が実際に支払われます。

三条市議会は盛んに今委員会で揉んでおります。委員会というのはおもしろい仕組みで歳入、みなさんでいう収入の方は総務常任委員会で審議いたします。支出の方は産業経済文教委員会で審議しております。

お金を出すという方の産業経済文教委員会は意義なく可決をしているんですが、歳入の方に関連しましては予算ですので全て総務常任委員会の方で審議しますが、これが昨日盛んに反対の意見が噴出しています。

2日目の今日は10時から委員会が開かれました。私は今までそこに出席していたものですから、そのFM放送の事について少しお話をします。

私は仕事として記者をしているというだけで、その経験の中で情報というものがどうあるべきか、又どういうものなのかという様なお話しをしながらFMに対する私の見解をお話しして、時間を終わりたいと思っております。

マスコミの情報を牛耳るものは、世界を牛耳ると昔から言われてきていること

です。情報というのは、意外とどこにでもあって、誰でもが手に入れられる物で、それが正しく伝えられているものだという認識で新聞を見たり、テレビを観たり、雑誌、ラジオでも聞いている訳です。

けれども、自分が当事者にならない時には全て報道を信じます。ただし、自分が当事者になったときには、あれっていう事に気付く事がたくさんあります。それは私も含めて情報を収集したり、それを整理して組み立てて皆さんにお伝えする間に私の私感が大きく反映します。

これは、マスコミに携わる人は基本として公平である。ここにちょうど皆さんの四つのテストがありますが、真実かどうか、事実かどうかを含めて真実かどうかという事があります。皆に公平であるかどうかとあります。これは多分皆さん人間一人一人が絶対に達成できないことだからロータリアンの皆さんは修業する目的として掲げられているテストだと思うのです。

ですから、どんな名文を書ける記者でも、どんなに優れたキャスターでも、決して公平に物を伝えることは出来ません。そういう前提でマスコミを考えますと、やはりチャンネルは多チャンネルあった方がいい。

「ローカルのニュースはもうたくさんだ」と皆さんおっしゃいます。「新聞があってテレビも観れば何もあつた。今更地域の情報を電波で伝えていく必要はないのでないか」ということが良く言われま

す。それと「全国的な傾向の中でラジオなんて聞くのか。もうテレビ、新聞、雑誌なんでもたくさんあるのに、今更わざわざカーラジオでもいいですがラジオを本当に点けるのかね」と言う疑問が大変出ています。

けれども、裏返してみますと自分達の情報を全国に伝えられる手段を自分達がつつという事は、大変意義のある事だと思います。例えば、周年記念事業がある場合を考えます。今新聞社の場合はもちろんミニFMも失敗するとそういう事になります。基本的に自分達が伝えたい情報を新聞社に行き記者に聞いてもらって、記者がいい加減であるといふ加減な情報になります。その上、記者が書きたくないと書きません。記事原稿があがってきても編集者の個人的な考えが非常に強く反映します。これは私も含めて商業紙の最大の弱点です。事実や真実を伝えるよりもスキャンダラスに書かなければ新聞が売れないし、読まれないしというのが現実です。その中に小さく一人でいてもがっかりしてしまう事が多々あります。

又、世界のマスコミの中でロサンゼルスタイムスというのが非常に悪名高い一時代を築いたことがあります。ロサンゼルスタイムスの編集、社長、経営者に楯突くと途端に駄目にされる。それで自分になびく人はどんどんそのニュースとして流す。

当時はテレビ、衛星放送などありませ

るので、結局ロサンゼルスタイムスが書いた事がその地域の事実として皆さんが認識してしまふ。自分の事を書かれた時は腹を立てますが、他人の事の時にはいとも簡単にそうだといふ人間の弱点があります。

同様な事で、テレビでCNNが湾岸戦争の時におかしかつたんじゃないかと今頃言われています。報道手段をもつた人達は世界を動かす事が出来ます。これはローカル紙でも同じです。一つのローカルメディアの中で情報を独占すれば自分の意のままに物が動く。そうあつてはならないのです。

今まで20年間の新聞記者生活の中でそういう失敗をした時が幾度かあります。その時は善意でやっているつもりですが、人間一人が見れる世界なんてものはそう広くない。いろんな角度から情報を提供していく事によって、それを幾つものチャンネルから情報を得た人は、「あつたのか」「これは実はこうだ」「おれはあの人に反論があつたからこうだ」ということが自由に情報として市民に伝えられるシステムにしなければならぬ。これは私達の努力が足りない事を含めて、記者としての自覚をもたなければならぬ事です。

ミニFMの話をしますと、ミニFM放送の必要性ということで、国がそれぞれの地域に一つの放送コードを与える訳ですから、それを地域のコミュニティーの為に有効に使って下さいといふことにな

ります。
誰かが開局しますと、もう他の人は取れませんか。それだけに大変。新聞ですと私が勝手にやりたければやればいいし、幾らでも出来ます。放送の場合にはそういう訳には出来ません。

アメリカの映画をよく観られる方は解ると思いますが、アメリカでは若い人達がラジオを使って、許可も無いのに学生向けにいろんな情報を流してコミュニケーションしたとか、ラジオの深夜番組に若い人たちから電話をもらったりして、悩みやその時々気持ちを交換したりしているというのが沢山あります。

ミニFM放送の場合は東京のものを使いながら、若い人達の悩みや皆さんの苦情でもいいし、行政への要望や意見を汲み上げていく努力が必要になっていくのかなと。もちろん新聞社もそれを続けなければなりません。そういった面でタイムリーに相手とその情報を交換していく、今聞いたらすぐ電話する。その人はそれを受けて又すぐその言葉で返してあげられる。それを聴取者が聞くという様な効用もあります。もちろんそれはほんの一部でして、1日24時間の番組編成の中で行政の話伝えることもタイムリーに出来ます。

今日、FM放送の広告委託料について委員会審議の経過を取材してきました。村上幸一委員長を含めて6人の議員です。今まで本田左敏議員が委員長でしたが、参議院議員立候補ということで辞任され

ましたので、現在、村上さんが議長になって審議されています。昨日審議が一応尽くされて今日は開会后、広告委託料について質疑が一つもありません。

本会議でこの議案が否決になると他の予算も全部ダメになります。「一事不再議」ですので基本的にもうこの議案では今議会に提案されません。

今のメンバーの構成から行きますと委員長は採決に加われませんか、測されるのは委員会は否決であろうということです。

今回否決されると本会議で再度、委員会報告に対してまた採決することになります。必ずしも委員会が否決だから本会議で否決されるということではないのです。たまたま本田議員さんが辞職され、この前不幸にして岡田正三さんが事故で亡くなられて、与党2人が欠けています。

野党の市民クラブがどうも反対になりそうだ。共産党はこの感じだと反対に廻るかな。自由クラブはまだ会派で決めています。当然民社サイドは与党ですので自由クラブは賛成して下さいと言って努力するでしょう。

その他の会派についてもいろいろ根回しをして本会議に望む事になります。大変厳しい局面になる訳ですから、議員は今急に決めなくても話をしています。

最初に言った通り、七年も八年も前からこの話はあって、新津FMは第三セクターでやって全く惨憺たる状況だと私の目には移ります。第三セクターでやった

んではとてもだめです。設備に金を掛け過ぎたり、いろんなことで金を掛け過ぎる。番組も役所がやりますから、今日の話はまず載せられないでしょう。市がやったらまずチェックを入れて、越後ジャーナルの社主はどんな話をするのかまず原稿を持って来いと。これについてはこうだとチェックが入るでしょうね。そういう意味では際どい話が出来なくなる。

今、新潟FMとか新津FMがあります。チャンネルを合わせなければ聞かれないのだ、合わせる人がいないのではないか。この中の人達で、私はラジオを聞いているよと意識的に聞いている人はほとんど無いかも知れません。それがローカルニュースになった時に果たして意識的に聞ける番組を放送できるかどうか。

例えば市議会一般質問を、国会中継の様にして放送した時に何人の人が市議会のお話を聞くのか。テレビのニュースも観なければいけない、本も読まなければいけない、映画も見なければいけない。その中で、そのニュースをどの時間帯に流せば皆さんが聞いてくれるのか、そういった問題があります。

それは株式会社のFM燕三条の方が如何に皆さんにチャンネルを合わせてもらえるニュースにするかを研究されることだろうと思います。

完全に民営化をした場合に一つ問題が起きるのは、放送の責任者が売上げを上げるためにスキャンダラスな放送にして

はこれは困ります。電波は一本しかこの地域に許可にならないのに、独占されて片寄り過ぎてはならないのです。必ず片寄りますがそれでも皆さんの意見がバランスよく伝えられないといけないと思います。

大変駆け足で話をしましたが、基本的にはこの地域に自分達が情報発信できる手段が一つ増えるという事を肝に命じて、その情報発信できる手段を活かすも殺すもその会社と市民の問題である。市民のレベルが低ければ幾ら手段を手にしてもよい情報は流せません。

放送という情報伝達手段を持つ事によって、一人の人、一人のグループがこの地域の情報を独占的にしてはならない。やっぱりテレビ、ラジオ全てのチャンネルを相互に牽制しあいながら、又補完しあいながら行くことは望ましいのだろうとそんな私見を持っています。

皆さんも情報というものをもう一度、大変便利なものだけれど大変危険なものだ。この地域のローカルコミュニティーにとって重要なものでも有り得るし、全く無駄なものでも有り得る。それは一つにスタッフの問題であろうと思いますので、よろしくお願い致します。大変途中で申し訳ございませんがこんな事で終わらせて頂きます。

2 クラブ合同旅行

三条RCから五十嵐会長ほか8名、三条北RCから米山会長ほか7名、同伴の奥さま3名を合わせて18名は6月9日から3泊4日の旅程で韓国の済州島・ソウルへの旅をしてきました。

この旅行は市内のRC会員と一緒に旅行をし、より濃密な親睦を図ろう、また研修もして来ようと言うことで行なわれました。

市内のRC会員が集う行事は合同例会を始め何回かはありますが、一つのテーブルに同じクラブ員が寄り合う傾向にあたり、時間の制約から他クラブ員とはあまり親しく会話が出来にくいなど親睦交流の密度が薄いことから前記の目的で企画されたものです。(佐野幹事)

あいにく三条南RCは30周年特別行事で独自の旅行を計画していましたので3クラブの合同旅行とはなりませんでした。

早朝、三条を出発。新潟からソウルを経て済州島へ。東西70km、南北40kmの楕円形火山島。佐渡ヶ島を少し大きくした程度の広さに53万人が住む。新潟空港より大きい済州国際空港。済州市はビルが建ち並び、中でも大きなホテルが無数にある。観光立市済州市は新潟市よりも大きく見えた。

佐渡にも済州国際空港並の飛行場があれば佐渡も発展してただろう。(橋会員)

三人の始祖が出現した「三姓穴」と呼ばれる聖地。石(溶岩)をケルンのよう

に積み上げたり、石臼を配置した庭や、研いた流木を展示した「木石苑」を見物する。上り勾配に見えて、実は下り勾配の「おばけ道路」を体験してホテルに。

2日目、プロゴルファー?の2名は早速ゴルフ場に。16名は島を左回りで観光に。幅が5~15m、高さ2~4m、延長200m程が2本の自然が造った洞窟を潜りぬけ公園を散策し、民族村を見学した「こうりん公園」。アーチの歩道橋から滝を見物出来る「天帝淵滝」。キジ肉のシャブシャブが美味しかった「大侑狩猟場」。客ひとり一人に女店員が付く韓国物産店での売込の凄さに圧倒された。目を商品に移そうものならマンツーマンでその商品を奨められる。我社の営業ウーマンにスカウトしたい気にさせられた。

3日目、オラカンリーCの幅、距離ともにある南コースにおいてプロゴルファー?の2名と共に13名(他キャディ13名)でプレーをする。

天候も良く景色も上々で雄大さを感じさせるコースである。食事休憩なしの1ラウンドを4組共に午前中で終了。昼食後にソウルに。朝からソウルに向けた観光組の5名と合流する。夕食時に成績発表が行なわれ、優勝は小越憲泰さん、BBは小越さんの奥さま百合子さん。ベストGはプロゴルファー?の三条北RCの小林満さんでした。

4日目、宿泊場所のアンバサダーホテルで毎週金曜日午前7時15分から例会のソウル、キョドンRCの例会にメイキャッ

プすることができた。ことばが解らないので不安であったが、キョドンRCの会員の上手な日本語通訳で大方内容がつかめて良かった。配膳が終ると食べ始め、その最中に会長挨拶があった。「サンジョウ……」と聞こえたから私達の紹介がされたのであろう。幹事報告がされた後に、五十嵐会長がメイキャップのお礼と三条市ならびに三条JCの紹介の挨拶をした。ゆっくりと1文節ずつ話し、それを通訳してもらった。

続いて三条北JCの米山会長が同様に挨拶をした。

その後、「気」についての卓話があった。水の流れを阻害してはいけないが、方位方角の話の様であった。講師は8月22日に新潟市三越デパートで実演する予定であるが、我等に会えたことは「気」が引き寄せたもので偶然ではないと言った。ホテルのボーイから生卵をもらい、コロンスの卵のごとく演台の縁に立て

て見せた。佐野幹事の登場である。右手の親指と人差し指で印を結び(OKサインをし)講師がその指の輪を開くのである。法輪が印刷してある講師の名刺を左手の親指と人差し指で持つと、力が沸いて右手のOKサインが解けないという出し物である。佐野幹事はその意図に応えずに持ち前の握力がものをいい最初からOKサインを解くのを困らせ爆笑を呼んだ。

続いて念力を与えたタバコと、念力を掛けないタバコを佐野幹事に喫ってもらいニコチンが薄くなったことを証言させた。

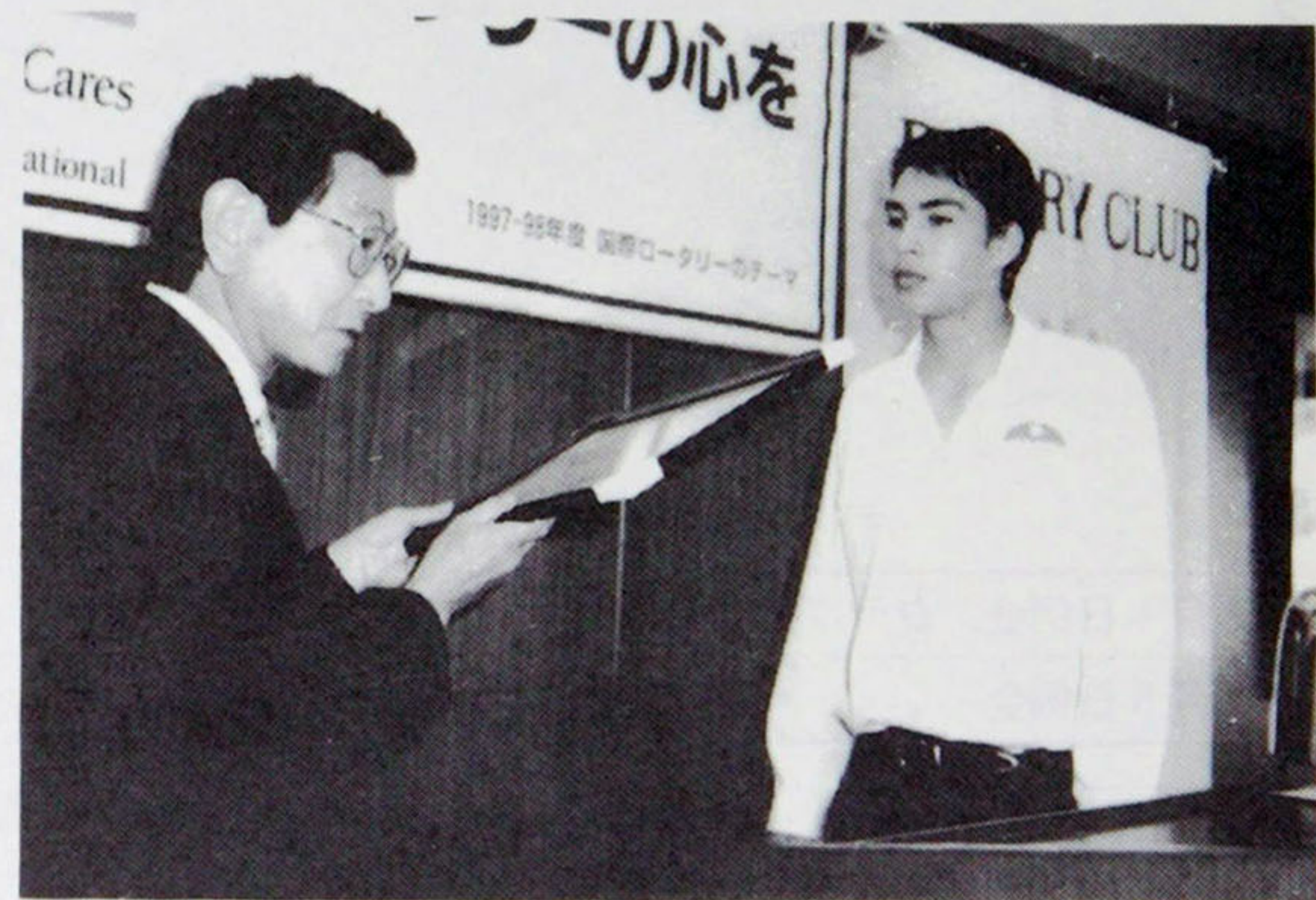
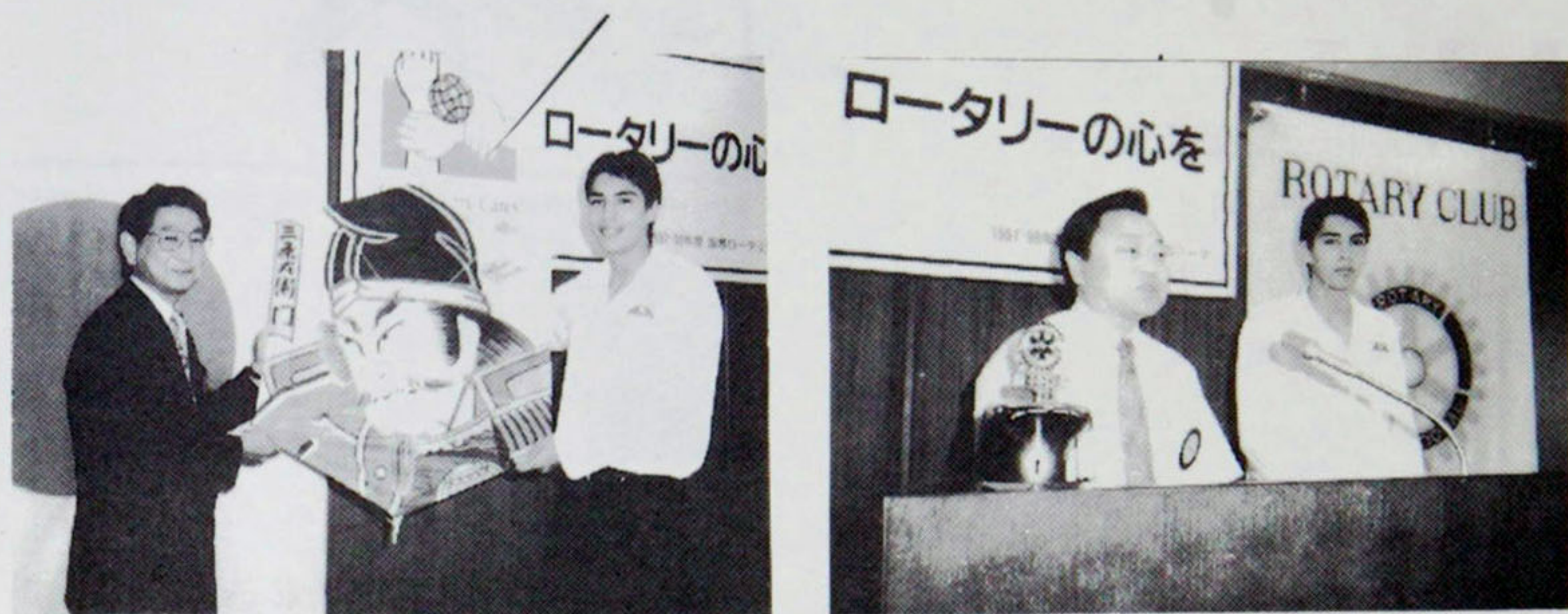
卓話の後、三条RC、三条北RCからバナーの贈呈、続いて記念写真の撮影を行ない1時間半のメイキャップを終えた。

午後5時には新潟空港に到着。みなさん元気に帰ることができました。橋さん、楽しい旅行をありがとうございました。





一年交換学生ネーザン君最後の例会訪問



地区より修了証書

7月2日に燕三条駅発6:16分でネーザン君が帰国されます。一年間どんなふうに日本に住み、日本を勉強されましたか。元気に帰ってまた日本に来る機会が

ありましたら、三条ロータリークラブにお顔を見せてほしいものです。お元気で……。

新入会員紹介

長澤 正

日本通運(株)三条支店支店長

昭和18年3月8日生

家族構成：妻、一男

趣味：海魚釣り



例会案内

三条RC	7月1日例会	クラブアッセンブリー
	7月8日例会	

メイクアップをどうぞ

三条南RC	6月29日例会	会長・幹事慰労会
	7月6日例会	クラブ・アッセンブリー
三条北RC	6月30日例会	会長・幹事慰労会
	7月7日例会	クラブ・アッセンブリー
加茂RC	7月9日例会	夜の例会 於 割烹 阿部
	7月16日例会	クラブ・アッセンブリー
燕RC	7月9日例会	通常例会
	7月16日例会	クラブ・アッセンブリー
見附RC	7月9日例会	会員卓話
	7月16日例会	会員卓話
